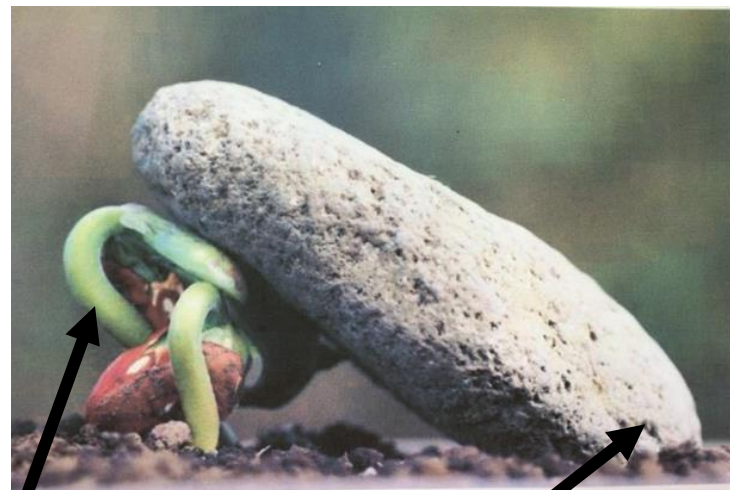


『生きたい！』週末課題より



芽

石

上記写真からみなさんはどんなことを読み取りますか？

(本日 6/17 の 4 年生国語授業より週末課題をだします)

読み取ったことを次の条件に従って作文にまとめてください。

条件1 下記作文用紙に、あなたの考えた写真の「題名」をいれてください。**条件2** 「写真の題名」をつけた理由（あなたが読み取ったこと）を作文に書いてください。**条件3** 60字以上80字以内の文章にまとめること。原稿用紙に名前は書かないで、すぐ本文から書き始めること。原稿用紙の正しい使い方に従うこと。

4年2組（國場学級）の研究授業参観後、授業で活用された教材写真より他学年はどんな読み取りをするか興味があわき、早速週末課題を作成しました。すると、提出された週末課題より本校3年間の週末課題の取組の成果と云ったらおこがましいですが、80字以内の短い文章によくまとめることができている。採点をしながらうれしく思いました。紹介します。

はばたけ

平成28年6月21日

本部小第7号

校長 森元幹生



6年N： 私なら、「生きたい」という題名をつけます。なぜなら、この写真から芽の力の強さ・高さではなく「生きたい」という強い気持ちも伝わってくるからです。

6年A： 「最終関門だ！」 なぜこの題名にしたかという、この芽はまっすぐ地上に伸びるために、地中からいろいろな困難に立ち向かっていたので、石をどかせばさいごだからです。

6年N： 私は、「必ずだれかが見ているよ」という題名にします。理由は、どんな頑張りでも必ずだれかが見ていてくれると私は思うからです。だから、めいっぱい頑張ってください。

6年N： 私は「つぶれてしまった心」という題名をつけます。理由は、大切に育ててやっとなでた芽が石につぶされてしまっている。育ててきた人の心も芽の心もつぶれてしまふと思います。

6年S： 私は写真を見て、「どんなことにもくじけない」にします。なぜなら、上に障害物があってもがんばって芽を成長させようとしているからです。

6年T： 私はこの写真に「努力」という題名をつけました。理由は、どんなにこの芽より大きい石が上に乗っていても、あきらめずに努力して成長を続けているからです。

6年N： 「自分の力」という題名をつけます。なぜなら、自分の命は自分で守る。自分を守るには、力が必要だからです。ぼくも、自分をまもるためにがんばりたいです。

6年N： 「生命力」という題名をつけます。なぜなら、自分よりも大きくて重い石を持ち上げて、種から成長しようとしている力強さに命の重みをぼくは感じたからです。

6年H : 私は、「西から日が出る」にします。理由は、手で強くさわると折れる芽なのに、大きくて重い石を自分で持ち上げていて全部が真逆になっているからです。

6年K : この、石の下の種から成長する芽が生きる力強さがあって、なんか勇気がもらえるような写真だったので、「生命力」という題名をつけました。

6年U : 私は、「どんな気持ち？」にします。理由は、石で芽をつぶすとせっかく成長した芽がかわいそうです。なので、もし、こんな場合だったら成長している芽を助けたいです。

6年H : 「がんばれ！石に負けるな！」という題名を私はつけます。なぜなら、「もうダメだ」となったら、何もかもネガティブになるのでこの題名にしました。

6年J : ぼくは、「努力は報われる」を題名にします。なぜなら、小さいころから毎日がんばっていたら、どんなに難しくても、いつかはできるようになるからです。

6年K : 私なら、「強く生きる力」と題名をつけます。なぜなら、困難な事でもめげずに立ち向かい、一生懸命道を切り開く「強い力」が、この写真から伝わってくるからです。

6年N : 私ならこの写真の題名に、「大切な命！みんなで守ろう」とつけます。理由は、この石は人間が植物の上においたかもしれないので、気づいたら直してほしいからです。

6年M : 私は、「あきらめない」という題をつけます。私はこの写真を見て根気強さというものを感しました。私は、この芽のように根気強さでどんどん成長していきたいです。

6年S : 私は、「あきらめない」という題をつけます。この写真の芽の気持ちになると、成長するという目標に対して、かべがあってもあきらめないで頑張っている気がしたからです。

5年J : 「力づくで生きる芽」私がこの題名にしたわけは、写真から芽が必死に生きている様子が伝わったからです。この写真は、何があってもあきらめるなといっているように見えます。

5年S : 私は、「どっこしょ」という題名にしました。なぜなら、芽ががんばって石をうごかしている様子がうかんだし、がんばっている様子がうかんだので、この題名にしました。

4年M : 「がんばる芽」小さな芽が、自分よりも大きな石を持ち上げ、せい長しようというすがた、力強さを感じました。わたしも、この芽のように力強くがんばりたいです。

